

Topics

新しいふれあい館が
オープンしました

4月1日、尾久地域に「東尾久本町通りふれあい館」が、日暮里地域に「ひぐらしふれあい館」がオープンしました。

東尾久本町通りふれあい館は、木材の色や模様を表現した温かみがあるふれあい館です。隣に児童遊園があり、1階のサロンスペースの窓を開放することで、児童遊園との一体感が高まります。

ひぐらしふれあい館は、仕切りなどにガラスを多用した明るいふれあい館で、学童クラブを併設しています。

ふれあい館では、いろいろな世代の方が楽しめるよう、イベントを開催したり、多目的室を開放したりしています。また、サークル活動などに参加することができます。みなさんも、近くのふれあい館に遊びに行ってみませんか。



▲東尾久本町通りふれあい館



▲窓を開放すると児童遊園とつながります



▲ひぐらしふれあい館



▲明るい雰囲気を感じられます

なりたいたい自分になる!
「カメラマン」
になるために!

将来の夢
インタビュー
第6回

「あらかわ区報Jr.」のカメラマンを
2018年から担当している
横村太郎さんに話を聞きました。

いつごろからカメラマンになりたいと思いましたか?

写真に興味を持ち始めたのは小学6年生のときです。中学では写真部に入部して友人や風景などを撮っていました。本格的にカメラマンになりたいと思うようになったのは高校2年生のときです。進路を考える際、「プロになるぞ!」と決めました。

カメラマンになるために何をしましたか?

カメラマンになる方法をいろいろと調べて、まず写真の専門学校に行きました。その後はプロカメラマンの助手になり、写真を撮るために必要なことを勉強しました。助手時代はプロとして写真を撮ることの「心構え」や「厳しさ」など、大切なことをたくさん教えてもらいました。

カメラマンになってうれしかったことはありますか?

1番最初にうれしいと思ったのは、「撮影：横村太郎」と自分の名前が雑誌に載っているのを見たときです。自分が撮った写真をたくさんの人に見てもらえる・喜んでもらえるということが、他とは比べられないほどうれしくて、「頑張ろう!」という気持ちの原動力になりました。

カメラマンになりたい小・中学生にアドバイスはありますか?

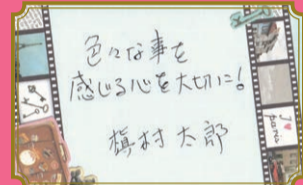
デジタル化で写真が身近な存在になりました。今はスマホなどでも簡単に写真が撮れるので、いろいろな事に興味を持って、「瞬間」を見逃がさないようにいっぱい撮ってみましょう!

横村太郎さん



京都府出身。個人カメラマンのアシスタントを経て、1990年よりフリーランスとして活動中。カメラマン歴は32年。

応援message



「写真は撮れば撮るほど上手になります。ゴールがないのが写真の魅力です。いつまでも自分を進化させていきましょう!」と横村さん。

あらかわ
今昔ものがたり
日 [あらかわの歴史と伝説]

【問合せ】荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234



その137
職人よもやま話⑪
～江戸の鋳物師西村和泉守の
技を伝える日暮里の職人～

街の中の銅像 あらかわの街をお散歩すると、あちこちで銅像を見かけるよね。「あらかわ街なか美術館」といって、芸術家がつけた作品を展示しているんだよ。えっ、日暮里のお寺でもっと古そうな銅製のお地藏さんを見たって? 西日暮里三丁目の浄光寺さんだね。あそこには区指定有形文化財のお地藏さんが二つあるんだ。一つは、元禄4年(1691)に作られた銅造地藏菩薩立像。鋳物の名人の空無上人の作品だ。もう一つは、銅造地藏菩薩坐像。鋳物師(鋳物職人のこと)の西村和泉守が文化6年(1809)に作ったんだよ。神田鍛冶町(今の千代田区)にあった西村和泉守の工房は大正時代まで続いたんだって。



▲左が西村和泉守の作品

鋳物師の街日暮里
明治時代以降、日暮里には何軒もの鋳物の工房が開かれ、たくさんの鋳物師が活躍したんだって。東京美術学校(今の東京藝術大学)が近くに

あったことや、鋳物の型に使う砂が手に入りやすかったことなどが理由に挙げられているんだ。西村和泉守の技を伝える その中に西村和泉守の技を受け継いだ職人がいた。明治生まれの菓子十平さんだ。十平さんは西村和泉守派の大貫房次郎という鋳物師のお弟子さんだ。日本古来の伝統的な技である「真土型」という鋳型作りの技術で、仕上げまでを行っていたんだ。大手町(千代田区)にある和氣清麻呂像などの巨大な銅像を手がけるときは、近所の鋳物師の皆さんと協力し合って製造したんだってさ。

伝統の技で左内像を作る ところで荒川ふるさと文化館の前のお堂に橋本左内像があるよね。十平さんの息子で「現代の名工」に選ばれた菓子満さん(区指定無形文化財)の作品だ。菓子さんの左内像は父から受け継いだ西村和泉守の技で作られたんだよ。あらかわには菓子さんの技だけでなく、たくさんの伝統工芸技術が伝わっているんだ。7月2日・3日に荒川総合スポーツセンターで開催予定の「第41回あらかわの伝統技術展」で、江戸以来の伝統の技の数々に触れてみてね。



▲橋本左内像を製作する菓子満さん